

## 水稲初冬直まき普及へ



作業の様子を確認する参加者ら（岩手県花巻市で）

### 岩手で見学会

【いわて花巻】JAいわて花巻や子会社のJAグリーンサービス花巻、岩手大学農学部

大学が開発した栽培法で、播種後、雪の下で越冬、春に発芽・苗立ちをさせる。

は連携して、水稲の初冬直まき栽培の普及に取り組んでいる。農閑期の初冬に播種（はしゅ）することで春の繁忙期の作業を分散させ、経営規模の拡大に

見学会では、JAグリーンサービス花巻プロ農夢事業本部の畠山讓本部長が、作業工程や今までの試験結果を説明した。

生かしてもらおう狙い。14日には花巻市の農事組合法人なべくらが管理する農地で播種作業の見学会を開き、農家や関係機関の担当者ら約40人が参加した。

畠山本部長は、「地域でも集落営農や法人化をしながら担い手を育てているが、作業員が不足しているのが現状だ。作業時期をずらし、労力を分散させる必要がある」と話した。

日本農業新聞令和6年11月22日(金)付 第9面  
この記事は日本農業新聞の許諾を得て掲載しています。